

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供



神奈川県青少年指導員だより

第59号

-2018年9月-

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行者 市丸 克己
連絡先 045-210-1111(代)
神奈川県青少年課内
印刷 文明堂印刷(株)横浜営業所
045-731-1441

第26期理事あいさつ

平成30年度第1回神奈川県青少年指導員連絡協議会理事会(平成30年5月22日開催)にて選出された、役員の方をご紹介します。

オープンな関係を目指して



県協議会 会長 市丸 克己(相模原地域)

このたび、第26期会長に選出されました、市丸克己です。まだ不慣れなところも多々ありますが、副会長、理事の皆様のお力を借りながら一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、会長になって最初の大きな任務として、5月に委員総会を開催し、各地域の皆様と意見交換をさせていただきましたが、「イベントに子どもが集まらない」「指導員が定員に満たない」との切実な声が多数寄せられました。こうした背景として、核家族化や少子化の進行により、家庭のライフスタイルが変化し、地域の活動に対する意識や関わり方が変遷してきていることが挙げられます。そのような中、広報の方法を変えてみたり、イベントの内容を見直したりして参加者を増やす工夫をしたり、指導員が参加しやすいよう会合の日や時間を工夫するなど、とても参考になるお話を聞くことができました。

今後も、皆さんの声を吸い上げ共有していけるよう、フラットでオープンな関係を築いていきたいと思っております。青少年指導員の活動を一人でも多くの方に理解してもらえるよう、大きな声をさらに張り上げ、積極的にPRしていきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

青少年指導員活動の思い

県協議会 副会長 柳澤 直人
(横浜地域)

この度、県の副会長となりました横浜地区の柳澤です。私が青少年指導員となって29年目となりました。

最初は地区の運動会やインディアカ大会や映写会などの行事のスタッフとして先輩の指示

に従って動くだけの日々でしたが、これらの行事に参加してくれた子どもたちの笑顔が見られることが楽しみでした。現在は地区の行事だけではなく区の行事を主宰する立場となりましたが、今でも参加してくれた子どもたちの楽しそうな笑顔を見るのが青少年指導員活動の励みとなっています。

今期も県内の子どもたちが楽しく過ごせるように皆さんと活動していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

「子どもたち、
私たちの笑顔!!」のために県協議会 副会長 中野 隆則
(県央地域)

副会長の中野です。よろしくお願いいたします。

昨年は青少年指導員制度50周年を迎え、諸先輩達の思いを継承しながら、新たな一歩を皆様と歩みたいと思っております。スマホ・インターネット等の情報

手段の急激な普及と発達により、大人や異世代との人間関係が希薄になり、大人になる大切な挨拶・コミュニケーション等がうまく出来ない子どもが増えています。

私たちは子どもたちが安心・安全に暮らせる「見守り」、地域のお祭り・イベントなどでの「ふれあい」、色々な活動を通して大人と子どもの仲間になる「きずな」のために、皆様と活動したいと思います。